

## BioJapan2022 に「横浜・川崎パビリオン」出展

バイオ産業におけるアジア最大級のパートナーリングイベント「BioJapan2022」が、今年もパシフィコ横浜で開催されます。(通算 24 回目、横浜市での開催は 17 回目)

横浜市では、健康・医療分野の革新的な製品・技術・サービスの創出を推進する「LIP.横浜」により、中小企業・スタートアップを積極的に支援しています。

この取組の一環として、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団ほかと共同で「横浜・川崎パビリオン」を出展し、市内、県内を中心としたライフサイエンス関連企業・研究機関の新たなビジネス機会の創出を図ります。



### 「横浜・川崎パビリオン」概要

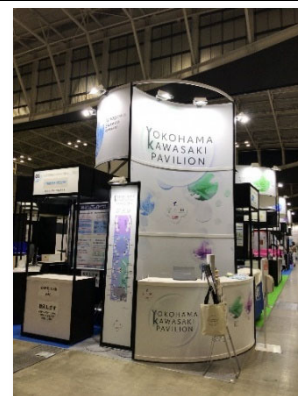
#### (1) 共同出展者数

企業・研究機関等 30 社・団体 (うち、市内関連 14 社・団体)

※昨年度は 31 社・団体 (うち、市内関連 17 社・団体)

#### (2) 出展内容

各ブースにて、事業内容の紹介及び製品等の展示



▲昨年の様子



### 共同出展者一覧 (50 音順)

1	(株) アサイ・エンジニアリング	16	(一社) 日本 DNA 鑑定技術研究所
2	アヘッド・バイオコンピューティング (株)	17	ピンポイントフォトニクス (株)
3	(有) 飯田製作所	18	ファスタイド (株)
4	泉工業 (株)	19	(株) ファスマック
5	インビボサイエンス (株)	20	(株) ファルネクス
6	AIC-VISION (株)	21	(株) 藤本分子化学
7	エリクサジェン・サイエンティフィック・インク	22	ベクタービルダー・ジャパン (株)
8	(国研) 海洋研究開発機構	23	丸星 (株)
9	桂化学 (株)	24	メディサイエンス・エスポア (株)
10	(株) 鎌倉テクノサイエンス	25	(株) MOLCURE
11	(株) 協同インターナショナル	26	Life Analytics (株)
12	(公財) 実験動物中央研究所	27	川崎市、(公財) 川崎市産業振興財団
13	(株) 天然素材探索研究所	28	(大) 横浜市立大学
14	ナノ医療イノベーションセンター	29	(公財) 木原記念横浜生命科学振興財団
15	(株) ニッポン	30	横浜市

※網掛けは横浜市関連の出展

裏面あり



## BioJapan2022 開催概要

- (1) 日時  
令和4年10月12日(水)～10月14日(金) 10:00～17:00
- (2) 会場  
パシフィコ横浜 展示ホール B・C・D、アネックスホール F201～F206、ノース G401～404
- (3) 展示会入場料  
無料（下記ホームページにて来場事前登録必須）
- (4) 主催  
BioJapan 組織委員会、株式会社 JTB コミュニケーションデザイン  
BioJapan2022 ホームページ (<https://www.ics-expo.jp/biojapan/ja/>)

※新型コロナウイルス感染症対策として、ホール入り口では入場者の検温、消毒を実施しています。また、入場の際は必ずマスクの着用をお願いします。また、主催者が必要と判断した場合は、事前の告知なしに会場内への入場制限をする場合がございますので、ご了承ください。

※会期中の会場取材につきましては、上記ホームページにて来場登録をしていただくとともに、経済局産業連携推進課（045-671-4600）までご連絡ください。



## イノベーション都市・横浜の取組

横浜市は、平成31年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー（よくぞYOXO）」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。また、「I・TOP 横浜」と「LIP.横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。



### お問合せ先

「BioJapanに関すること」 経済局産業連携推進課長 佐藤 慎一 Tel : 045-671-2574  
「出展企業に関すること」 (公財) 木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 岩船 広 Tel : 045-502-4810

※本件は、川崎市と同時発表しています。なお、横浜経済記者クラブにも配付しています